

「人と係わり合うのは楽しい！」を実感して欲しい

一人の学生が、今年もとまり木から飛び立って行った。

高校時代の友人関係のつまずきからか、進学しても友人を避けての生活……。心身症気味か、登校すると腹痛に見舞われることもしばしばあったとか。

授業で出会い、ここ7ヶ月は「人と係わり合うのは、楽しいこと！自分を変えるのは、人との係わり合いの中でしか出来ない」ことを実感して欲しく、メ-ル交換や、家内共々ドライブしたり、街でも何度か会ったり、また、真摯に生きてる人の話を聞く機会を設けたりと、ただ寄り添ってきただけ。

就職先も決まったとかで、「仙台を引き上げる前に、もう一度、話を聞きたい」というので、会った。その日の夜、次のようなメ-ルが届いた。

「先生、今日は本当にありがとうございました。先生から教えていただいたとおり『あるがままに、なるがままに』今日の自分を大切に、そして未来に向かって、生きていきたいと思います。私は先生とお会いできたことが仙台に来てよかったと思っています。先生のおかげで考え方が変わり、また自分を見つけようと思うようになりました。」

「今日は過去の積み重ね。未来は今日の積み重ね」ということを、少しは解ってくれたかなあ～。後は、本人の日々のひたむきな行動を願うのみ……。

各学校でこうした学生に何人か出会ってきたが、非常勤講師の立場では、学生にすれば恐らく一時の「とまり木」だろうと思う。

「このとまり木は、いつまでもこの場所にあるから、いつでもまた羽休めにおいで」と、伝えて飛び立ちを見送っている。

こうして羽を休め、羽を自ら繕ろうとする小鳥がいる限り、小鳥を見つけ易いとまり木でありたいと思う。来年度は、どんな小鳥が羽を休めるのかなあ～。

各学校での週1回の授業だが、「相手を理解する以上に、相手から理解者と思われる存在になれ！」という教えを、少しは実践できているかな。

(2005年2月15日 記)